



受けていますか？ 肝炎ウイルス検診

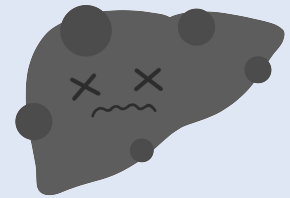


肝臓は別名“沈黙の臓器”と呼ばれています。肝臓はなかなか SOS を出さないため、無症状のまま経過し、自覚症状が出たころには重症になっていることもあります。

肝炎ウイルスに感染しているかは血液検査でわかります。肝炎ウイルス検査を受けたことがないかたは検診を受けましょう。

～ウイルス性肝炎とは？～

肝炎ウイルスに感染することによって起こる肝臓の病気です。国内で特に多いのは B 型、C 型肝炎で、主に血液や体液を介して感染します。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、病状が進行すると肝硬変や肝がんに至ることもあります。

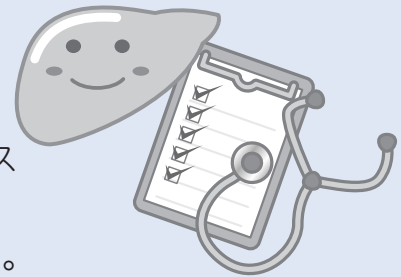


～ウイルス性肝炎の検査とは？～

採血し、血液中のウイルスを調べます。

市では、B 型肝炎ウイルス (HBs 抗原)、C 型肝炎ウイルス (HCV 抗体) について検査することができます。

対象者、実施医療機関などの詳細は 23 ページをご覧ください。



～感染がわかったら？～

肝炎ウイルスに感染していたとしても、適切な治療を受けることができればウイルスの排除が可能ながあります。専門医へ相談しましょう。

※治療効果は肝炎の種類、ウイルス量などによって異なります。

